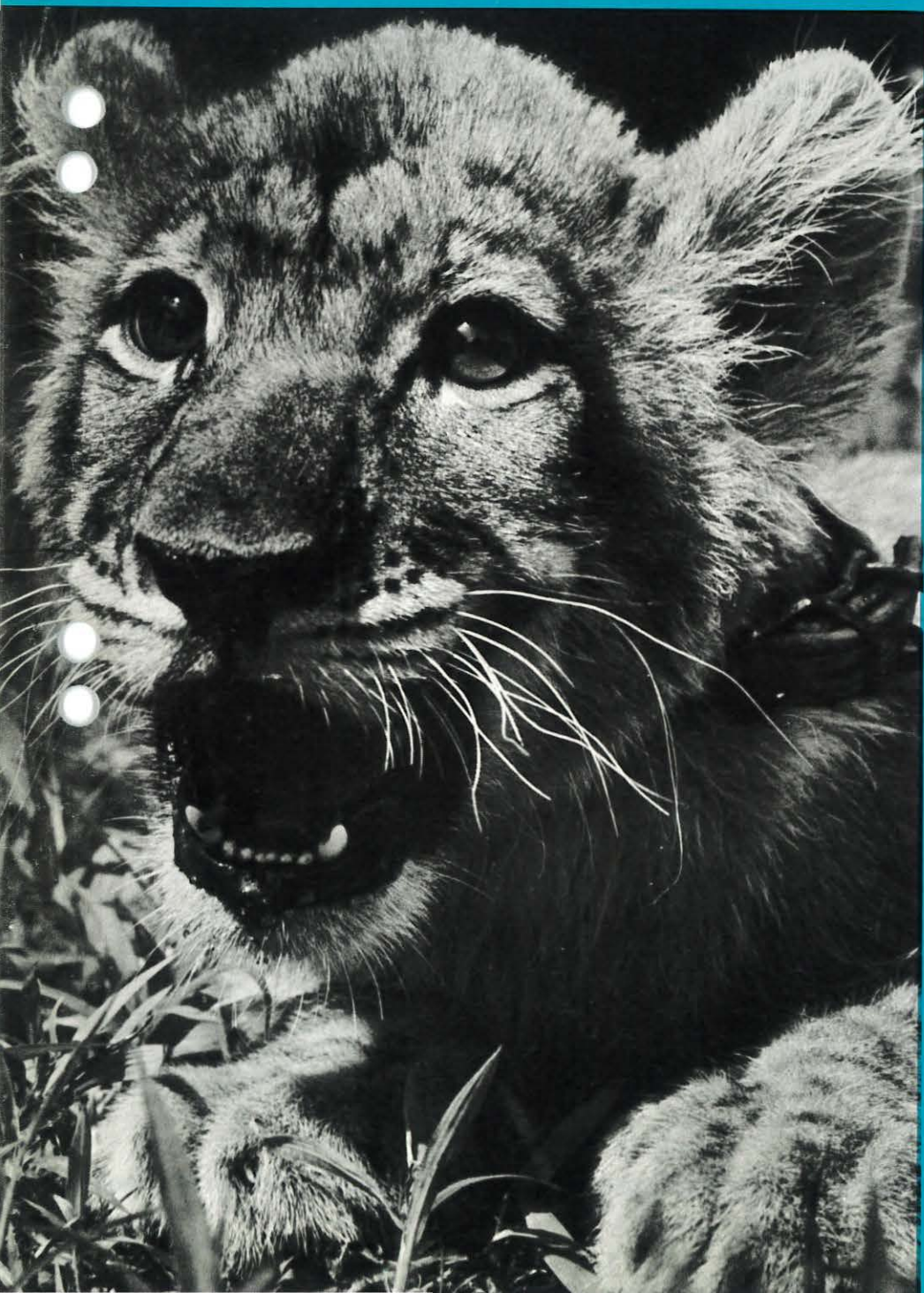


なきごえ



1971

9

大阪市
天王寺動物園協会

エチオピアのライオン

辻本 修

万国博開催を記念して、開催地の天王寺動物園に昨年9月13日、エチオピアからライオンの子のつがいが贈られてきました。このライオンは生後3カ月くらいで日本にやってきて万国博会場や、大阪市内の百貨店で開かれたエチオピア展で人気を呼んだライオンです。動物園に到着した時は、餌の与え過ぎのためか、少し腰が抜けたような状態（これはネコ科の動物に見られる共通した症状です）だったのですが、その後の飼育係の人たちの献身的なお世話で、今は元気いっぱい、そして到着した時とは見違えるばかり大きくなり入園者の目をひいています。

ライオンは、かつてはギリシアにもいたのですがB. C. 100年ごろには滅び、1800年ごろにはアフリカの大部分と、中近東、パキスタン、インドの中北部に住んでいたのですが、現在はアフリカ以外では、インドのカチアル半島のガー森林（チークの落葉樹林とアカシヤがまばらに生えている地域）に保護されながら、約290頭が生息しているだけです。アフリカでも北部と南部からはライオンの姿が消えてしまいました。ライオン中最大の亜種だったケープライオンとパーバリーライオンも絶滅してしまい、満足の標本も残っていないということで、その絶滅は非常におしまれています。現在東アフリカにはニヤンザライオンとマサイライオンが、西アフリカにはセネガルライオンが、北アフリカにはヌビアライオンが、そしてエチオピア地方にはアビシニアライオンが住んでいますが、東アフリカ以外のライオンは、



(雄ライオンの昼寝〈タンザニア〉
レイク・マニヤラにて)

どんどん数が減っているようです。私は昨年6月～8月にケニア、タンザニア、ウガンダのいわゆる東アフリカ三国でサハラを楽しんできましたが、タンザニアのサバンナでは毎日相当多くのライオンの集団を見かけました。特に繁殖期だったので殆んどが家族の集団でした。

エチオピアには東アフリカへの往復の途中数日間滞在しましたが、野生のライオンはとうとう1頭も見かけませんでした。もっともアビシニア高原にある標高2500メートル（富士山の6～7合目の高さ）の首都アジスアベバを中心に行動していたために、ライオンを見かけなかったのかも知れません。

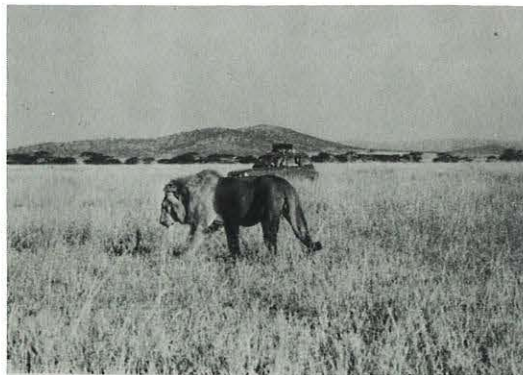
表紙の写真説明

“ライオン”

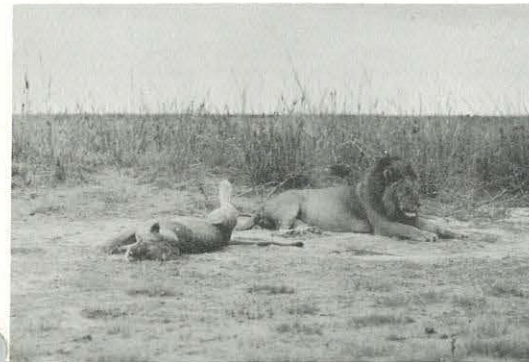
生後4カ月のおすのライオンです。ちょうどやんちゃざかりになってきて、係員をてこずらせています。ライガーづくりの大事なおすとして、トラとなかよく同居しています。

なきごえ9月号もくじ

- エチオピアのライオン……………2・3
- インドライオン見物記……………4・5
- 万国博でやってきたライオンの1年……………5
- 動物園グラフ……………6
- 動物園ニュース……………7



(サハリの車とライオン〈タンザニア〉
ゴロンゴロクレーターにて)



(ライオンの雌雄〈ケニア〉
マサイアンボセリにて)

日本の著名な動物生態専門のカメラマンもアジスアベバから東へ450キロのところにあるダイレダワの町（この町には日本と提携している紡績会社がある）でライオンのカメラハンティングを試みたそうですが、失敗に終わったそうです。現在はもうほとんど野生のライオンは見られなくなったということですから、やがてエチオピアのライオンも絶滅の運命にあると言えましょう。天王寺動物園のアビシニアライオンは、こんな点からも貴重なライオンなのです。日本各地の動物園にいるライオンは東アフリカのライオンです。天王寺動物園のライオン園のライオンも東アフリカ産のもので、天王寺動物園のアビシニアライオンはまだ子どもですので、東アフリカ産のライオンとの相違が未だ認められませんが、成熟すれば、からだの毛の色、たてがみ、耳の大きさなどの違いが、はっきりしてくることでしょう。そし



(商業銀行前のライオン像〈エチオピア〉
アジスアベバにて)



(ライオン動物園附近〈エチオピア〉
アジスアベバにて)

て、このつがいから多くの子孫を得たいものです。さて、昔のエチオピアには、ライオンがたくさんいたので、エチオピア国のシンボルマークはライオンとされていました。エチオピアの皇帝旗は緑、黄、赤の三色にライオンを描いたもので、親日皇帝として有名な、ハイレセラシエ皇帝のジュビリー宮殿の正門の石の柱の上には、ライオン像が2頭刻まれていました。そしてこの宮殿には有名な“トージョー（東條）”という名のライオンが皇帝に飼われています。親日家のバーのマダム（東京という名のバーの経営者）が動物園へ案内すると言うので行くと、ライオンだけの動物園だったのです。円型の大きな鉄格子のオリの内に仕切りがあり、十数頭のライオンが飼われていました。私が泊まっていたラス・ホテルの近くに広場があり、その一隅にある商業銀行（つい最近完成した円型の近代ビル）の前には、王冠をいただいた巨大なライオン像があたりをにらんでいました。エチオピア・ドル（1ドル=144円）に換金のため、銀行へ行くたびに、このライオン像を見上げたものです。そしてエチオピアからギリシアへ向かうため、アジスアベバ空港から塔乗したエチオピア・エアラインのジェット機の機体にもライオンが描かれていました。エチオピア・エアラインのマークもライオンなのです。もう野生のライオンはほとんど見かけられなくなったエチオピアなのですが、ライオンのマークやライオン像はアジスアベバの街角で、どこでも見られます。

(ひかりのくに編集部長)
大阪保育学院講師)

インドライオン見物記

岡 廣 志

百獣の王ライオン。ライオンと言えばアフリカ。それほどアフリカのライオンは有名ですが、インドにもライオンがいるのです。昔はアフリカから中近東、パキスタン、インドの中北部にまでいたのですが、現在ではアフリカとインドの一部に保護されているだけなのです。この少なくなったインドライオンを、私は今年の1月に見てきたので、その時の話をしましょう。

インドライオンはインドと西パキスタンの国境に近い、カチュワル半島のギル森林にいます。このギル森林のササンにネール首相が泊ったというロッジがあります。ここは大変辺りな所、ケシヨドという待合室だけしかないローカル飛行場まで車で約5時間もかかり、さらにボンベイ空港まで飛行機で2時間もかかります。ササンは小さい村で、その近くにアフリカから来たニグロだけの村があり独特な家の造りなどは、インド人の家と対象的でおもしろい。ロッジの近くに住んでいる子供の話によると、このロッジの庭にもライオンが来たことがあり、家畜が殺されたこともあるとの話である。半信半疑でいると、夜レオパードショーをやるから見に来るよという。案内人のあとについて行くと、庭のすみに鉄格子で囲まれ下には砂がひいてある細い通路が100メートル位あり、その行止まりは檻になっている。その檻の中には数名の人達が息をこらしてヒョウの現われるのを待っていた。人間が檻の中からヒョウを見るのである。私達の檻の前方には、生にえのヤギが横たわっており、そこへライトをあてるようになってい。ヒョウは食べはじめると、ライトを明るくしても逃げないのです。ヒョウの顔は血に染まり、内臓を引っぱって食べるようすが良くみえた。このヒョウの現われる確率は5割だそうで、運良くヒョウを見ることができた。野生のヒョウを、このような近くで見ることがで



きるのだから、ライオンが庭に来たという話は考えられることである。ベットに入ってから考えた。目をさましたら目の前にライオンが、などと考えたが、疲れていたのも朝まで寝こんでしまった。

いよいよライオンを見に行くことになった。ワゴン型の車で川原のようにデコボコしたジャングルの道をライオンを求めて走る。少しでも油断をするものなら天井か窓に頭をぶつけてしまう。さんざん引きずりまわされた後、途中からライフル銃をかついた監視官らしきものが乗りこんできた。少し行くと全員車から降され、ジャングルの中を監視官についてあるいた。途中、少し開けた所に水牛の残骸があったので、ライオンが近くにいることがわかった。車を降りて2〜3分あるくと、幅10メートル位の水のない川に出た。監視官が全員を静止させ、一人でようすを見に行った。少しすると、全員に来いという合図があった。こうふんして川原に出ると、前方50メートル位の所に雌のライオンが5頭こちらを見ている。川原の日影になっている砂の上にゴロゴロしていたが、私達の熱気に負けたかのように重いこしをあげ、山の中に消えた。次にライオンを見たのはチークの林の中だった。やはり車から降りて林の中を3〜4分あるいてからだった。チークは落葉樹で、ちょうど日本の桐の葉のような葉をつけた大きな木で、木の下にはえている草は貧相なものだったので、かなり速くまで見わたすことができた。草原を好むライオンにとって、見透しのきくチークの林は案外住みよい所なのかもしれない。少しあるくと開けた所に出た。そこには若い雄が1頭と雌が7頭いた。ライフル銃をかついだ監視官が生にえの仔牛を連れてくるとライオンが集ってきた。驚いたことに、監視官とライオンの距離は3メートル位しかないが、人をおそうような気は全く感じられなかった。監視官の一人が細い棒で寝ているライオンの鼻をつ

万国博でやってきたライオンの1年

当園では、昨年の万国博で、各国から万博記念にと、多くの動物使節がやって来ました。彼等も早や1年たち日本の暑い夏と、寒い冬を経験し、どうやら日本の気候も分り、元気に育っています。エチオピアからは、ライオン1番が贈られました。来た当時は、まだ生後4カ月位のかわいい子供で、普通のライオンより毛が長く、色は茶色ぼく、長旅のせいか、元気がなく、又、気候の違いや、せまい檻のため運動不足などで、大変弱々しく、特にオスは、後駆マヒで、歩く事が出来ませんでしたので、エチオピア館から、動物園に移され、動物園で治療をかさね世話をする事になり、毎日獣医に、栄養剤や、骨を強くするためにCa剤の注射をしてもらいました。初めは、立つ事が出来ないで、注射も比較的簡単に行っていたのですが、だんだん元気になり、歩く事も出来る様になると注射もてこぶり、いくら生後4カ月の子供といえども、相手は、百獣の王ライオンですから、大人2、



(入園当初)

3人で、まず頭に捕獲アミをかぶせて、動かさない様にして、押えつけてやっと注射をするという具



(最近のおすライオン)

2頭は、うれしそうにじゃれ合うようになり、来た当時の心配も取越苦勞となり、ほっとしましたが、少しやせて、なかなか肥えないので、虫卵検査をもらおうと、寄生虫がいるとのことで、早速駆虫薬を与えたところ、沢山の回虫が出、それからは、発育は順調で、万国博の開催中、月に3回位、エチオピア館に連れて行くようになり、エチオピア館の人気者となりました。そして万国博の終る頃の9月10日に、天王寺動物園に寄贈されましたが、このライオンも、他の5頭のライオンと同居させたいと思いましたが、猛獣は中途からいっしょにするのは大変むずかしいので、となりの檻で飼うことにしました。1年たった今では、身体も3倍も大きくなりオスの方は、百獣の王のシンボルであるたてがみのびはじめ、また当時の愛らしい顔も精悍な感じを与える位で、やがてはエクスボ二世も生れる事と思い今から楽しみにしています。

(正木 時雄)

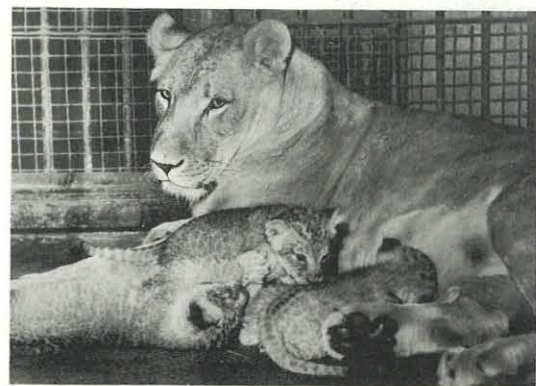
ついたら、ライオンは大きなネコのようにゴロリところがり、腹を上にしてモソモソしている。こんなありさまだから、危険感全く感じられず、遂に私達とライオンの距離は10メートル位になってしまった。それでも野生のライオンだから、いつ何が起るかかわからない。私達とライオンの間には50センチ位の高さにトゲのある木の枝が横たえてあるだけ、しかしこれもいざとなれば役に立たないだろう。たよりになるのは監視官のライフル銃だけである。しかし、それもいざとなると弾が飛ぶかどうか疑わしいしろものである。なぜなら、銃口が少し曲っているように思えるし、サビているから。ここがアフリカだったら私達はもうとっくにライオンの腹の中かもしれない。アフリカでライオンを見物するときは車の中から見るらしい、車の外に出ることは危険なの

で絶対にゆるされない。インドライオンは私達を全く無視し、相手にしてくれない。もっとも、相手にされたら大変なことで、命がいくつあってもたらない。帰り、車に乗ったら、私達のあるいて来た道をライオンがのんびり横ぎっていった。ここは一人だったら、きっとスリルのある所なのかもしれない。現在ギル森林には177頭のライオンがいます。ギル森林にも文化の波が押しよせてきました。近くにダムができたり、牧場らしきものができたりしたので、シカやイノシシやスイギュウを餌としているライオンはますます住みづらくなってきました。いつまでも、百獣の王らしくのんびりできるように、なんとかしなければと思った。

(東京動物園協会 普及係)

動物園グラフ

“ライオン”



↑お産はたいてい1~3頭を産む。
1年に2回ぐらい産む。



↑いかめしい父親ライオンも、子供たちにはたいへんやさしいところがあり、よく相手になって遊んでいる。

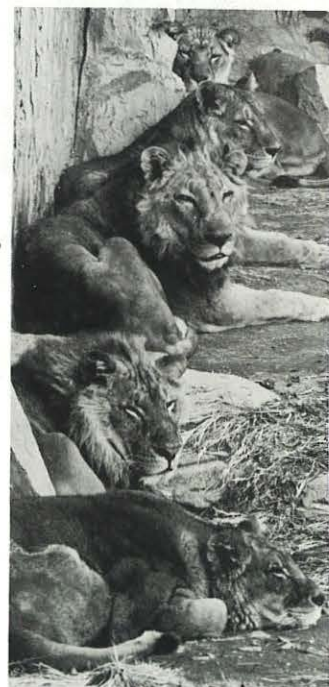


← 最近のライオンの家族。
成獣2頭と子供たち3頭(おす1、めす2)この母親は、よく赤ちゃんをうんで育てます。



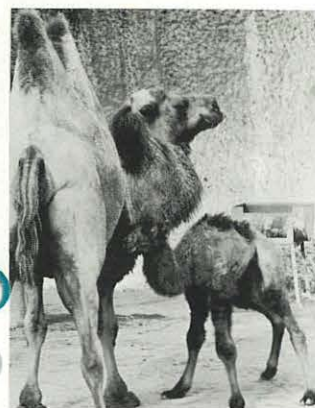
↑ライオンの人工哺育。
同じ母親なのに、出産時期やその他のいろいろな条件で、面倒をみないことがあります。
そのときは早い目に引きはなして飼育係が育てます。
また、乳母犬をさがして育てたこともありました。

→ 数年前のライオンたち。
戦後にはじめて動物園にやってきたライオンの猛(手前から3頭目)の顔も見える。
今はライオンの世代も交代してしまっ



動物園ニュース

★フタコブラクダの赤ちゃん誕生



8月7日 フタコブラクダの赤ちゃんが生まれました。
めすの赤ちゃんで、母さんラクダは43年3月にもめすをうんでいます。これでフタコブラクダの家族は、4頭となり大変にぎやかになりました。

★ピューマの赤ちゃん生まれる



8月18日 ピューマの赤ちゃんが3頭生まれました。
性別はまだわかりませんが、はん点のある小さな体で、母親のお乳にむしゃぼりついています。まだ目はみえませんが、まるまるこえて、これなら元気に成長するだろうと楽しみにしています。このピューマの母親は、過去7年間に12頭の赤ちゃんを育てています。

★アカオネツタイチョウの入園



8月21日 カナダから雑貨を積んで大阪港に入った英国船イースタンクリブ号(8000トン)のG.E.テイラー船長から贈られた。この鳥は、同船がハワイ沖で甲板でぐったりとなっていたところを助けられたものです。衰弱がひどく心配しましたが、入園後は、

強制給餌をしてやるとやっと元気になってきました。
この鳥はカモメ大で全身うすいピンク色ですが、口ばしと、とがった尾羽が赤色です。
当園では、グンカンドリや、カツオドリ、などの熱帯海鳥の永年飼育の経験があり、この鳥の飼育にも成功させたいとはりきっています。

7・8月動物園日記

- 7/26. マレーグマのめすが、老衰のため死にました。
- 27. シロクマのめすが、食欲不振が続いています。
- 28. アライグマの赤ちゃん2頭は、その後発育ぶりがよくありませんので、ひきとって人工哺育することにしました。
- 29. ゴリラのめすが、下痢をしましたので手当をしています。
- 8/1. ゴリラの体調は良くなりました。
- 2. サイクスぎるのおすが、急性肝炎のため死にました。
- 3. シロクマのめすが死にました。
- 5. プレイリードッグ舎の築山に、プレイリードッグがよく姿を出すようになりました。これまでは穴の中ばかりにいて、夕方少し出ているのみでした。
- 5. 抱卵中のキングペンギンは、56日目を迎えてもふ化しませんので、とりあげて見ましたら、無精卵でした。
- 7. フタコブラクダが出産しました。今度もめすの赤

- ちゃんでした。元気に乳を飲んでいました。
- 10. フタコブラクダの赤ちゃんのおひろめがあり、一般公開されました。
- 11. ハイイロカンガルーめす1頭が急死しました。剖検すると、熱射病のような変化があり、死因を究明しています。
- 18. ピューマの赤ちゃんが生まれました。

〜 新刊紹介 〜

「象の話」 定価 ¥1,200 (送料とも)
著者 R. キャリングトン
訳者 砂本悦次郎

訳者略歴

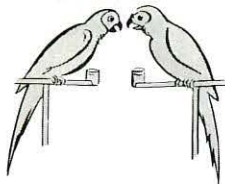
明治37年6月、大阪船場の瓦町に生まれ、船場小、市立天王寺商卒、象牙の貿易業にたずさわりつつ、余暇に象、象牙の研究にうちこんだ。

申し込は 大阪府高石市羽衣1-1-2 (〒592)
砂本悦次郎 宛

なきごえ 昭和46年 9月15日発行 (毎月1回15日発行) 第7巻第9号 (通巻74号)

編集 / 大阪市天王寺動物園
発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 加藤寿雄
印刷所 / 株式会社 松村善進堂

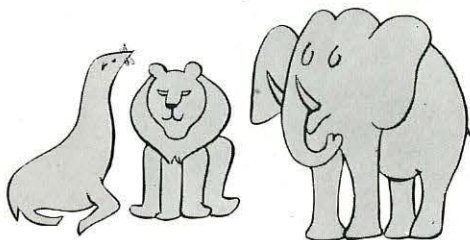
〒543 大阪市天王寺区玉水町2
電話 大阪 (06)771-0201
振替口座 大阪 37823
定価 50円



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話 (078)22-8195・22-1517
飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話 (078)24-3494



オイシサも…

品質も…

グリーンとアップ!

グリコジャイアントコーン

●パナ・ナッツ・チョコレート

30円50円



★とろりとした
良質のチョコレートに
ナッツがかかっている!

グリコ アイスクリーム

江崎 グリコ 株式会社

編集委員 < 入口 富夫・林 邦彦・大野 尊信・和田 辰巳・加幡 一男・米田 敏光・樽本 勲 >
< 田上 勝・中川 道朗・農本 武志・松岡 恵爾・深井 和美・東 政宏 >